

＜相談支援部会：平成23年度事業計画＞

1. がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供体制の整備

①療養情報冊子及びチラシ等の配布

◆ 患者必携（「地域の療養情報」）を配布する。

〔がん診療連携拠点病院（3）、支援病院（3）、がん診療を行っている病院（27【緩和ケア病棟を含む】）、保健所（6）、市町村（41）〕

内容の見直しは1年置きに行い、協議会HPへ掲載する。

「地域の療養情報」印刷：2年に1回改訂版を作成する

目標部数：10000部（変動有）

◆ 相談支援センターのチラシ等を配布し、配布先一覧を作成する。

〔保健所（6）、市町村（41）〕

・相談支援センターのチラシ・リーフレット・ポスター印刷：3年に1回作成する
（平成22年度事業計画にて作成済み）

②がん相談実務者研修会で、「患者必携（「地域の療養情報」）の配布方法」について研修する。（1回）

③協議会 HP 及び各拠点・支援病院HPにがん情報のリンク先（知っておくと役に立つインターネットサイト、緩和ケアを知る100冊、等）を追加する。

2. 診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供体制の整備

①「がんに関する医療機関情報調査」を、がん診療を行っている病院（33）・

診療所（41）を対象に行う。

② 上記調査結果を、協議会 HP に掲載する。

3. 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供体制の整備の一環としてがん相談実務者研修会で、合同カンファレンス事例・在宅移行支援事例・在宅ターミナルケア事例等について研修する（3回：各拠点病院1回ずつ）。

4. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介体制の整備

①がん診療を行っている病院（33）の医師を対象とした「セカンドオピニオンアンケート調査」結果の分析・報告を行う。

②セカンドオピニオン受診サポートプログラムの実現に向けて、先進事例等の情報収集、ニーズ調査（対象：沖縄県がん患者会連合会、他患者会：100人）を行う。

5. がん患者の療養上の相談体制の整備

- ①がん診療を行っている病院（33）の内、平成23年度8施設（県立宮古・八重山病院、他6病院：中部3病院、南部3病院）へ、共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できる様、支援・連携を図る。
- ②がん相談実務者研修会で、「院内患者・家族会設立マニュアル」について研修する。（1回）
- ③各支援病院の医療ソーシャルワーカーの常勤配置、研修会参加について沖縄県に提言及び支援を求める。（2人×2回）

6. アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談体制の整備

- ①がん相談実務者研修会で、「アスベストによる健康被害の救済に関する法律」について研修する。（1回）

7. （その他相談支援に関すること）相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築

- ①沖縄県内の患者会リストを作成し、協議会ホームページへ掲載、または協議会 HP とリンクを張る。
- ②「患者・家族会に関するアンケート調査」（プレ調査：那覇市立病院）結果の分析・報告を行う。
- ③沖縄県がん患者会連合会等と連携・共催し、ゆんたく会・フォーラム等を、公民館等の院外施設で開催する。
 - ・北 部：1回
 - ・中 部：1回
 - ・南 部：1回
 - ・宮 古：3回
 - ・八重山：3回

<相談支援部会:平成23年度経費内訳(案)>

1. がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供体制の整備

- ①患者必携「地域療養情報版」を関係機関に配布する(支援病院、がん診療を行っている病院(緩和ケア病棟含む)、保健所、市町村)
 ②相談支援センターのチラシ等を配布する(保健所、市町村)
 ③がん相談実務者研修会で、「患者必携(「地域の療養情報」)の配布方法」について研修会を行う

項目			単価	支出予定金額	備考
地域療養情報郵送代	83施設		1,500	124,500	がん診療を行っている病院27施設(緩和ケア病棟含む) 市町村47施設 保健所6施設
チラシ郵送代	47施設		1,800	84,600	市町村41施設 保健所6施設
交通費(県内)	1回		1人	2,000	
計				211,100	

2. 診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供体制の整備

- ①がんに関する医療機関情報調査を、がん診療を行っている病院33施設、診療所41施設を対象に行う。

項目	送付件数		単価	支出予定金額	備考
アンケート郵送代	71施設		180	12,780	返信用封筒切手代含む
ホームページ検索機能構築費				1,000,000	
アンケート集計代		71件		100,000	
計				1,112,780	

3. 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供体制の整備の一環として、がん相談実務者研修会で、合同カンファレンス事例・在宅移行支援事例・在宅ターミナルケア事例等について研修する(3回:各拠点病院1回ずつ)。

(年3回)

項目	研修場所		単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	各研修先病院内(1時間)	3名	15,000	45,000	
交通費(県内)		3名	2,000	6,000	
計				51,000	

4. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介体制の整備

- ①がん診療を行っている病院等に依頼し、医師を対象としたセカンドオピニオンアンケート調査を行う。
 ②セカンドオピニオン受診サポートプログラムの実現に向けて、先進事例を等の情報収集、ニーズ調査(対象:沖縄県がん患者会連合会、他患者会100人)を行う。

項目		件数	単価	支出予定金額	備考
アンケート集計代		2,000件		1,200,000	
郵送代		15件	500	7,500	返信用封筒切手代含む
計				1,207,500	

5. がん患者の療養上の相談体制の整備

①がん診療を行っている病院33施設の内、平成23年度8施設(県立宮古病院、八重山病院、他6病院:中部圏3病院 南部圏3病院)へ、共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できる様、支援・連携を図る。

②がん相談実務者研修会で「院内患者・家族会設立マニュアル」について研修会を行う。

③各支援病院の医療ソーシャルワーカーの常勤配置、研修会参加について沖縄県に提言する。

項目			単価	支出予定金額	備考
交通費(県内) 相談記入シート導入 にあたっての説明会	がん相談実務者研修会	6回	2,000	12,000	中部圏3病院 北部圏3病院
旅 費	がん相談実務者研修会	1回	60,200 (1泊2日)	60,200	航空券35,000(那覇～宮古 往復) 日当4,400/宿泊20,800
旅 費	がん相談実務者研修会	1回	71,200 (1泊2日)	71,200	航空券46,000(那覇～石垣 往復) 日 当4,400/宿泊20,800
講師謝金(学外者)	各研修先病院内(1時間)	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		1名	2,000	2,000	
旅 費	国立がんセンター(東京) 基礎研修1, 2	1名	94,200 (2泊3日)	94,200	航空券66,800(宮古～那覇～東京往 復) 日当6,600/宿泊20,800
旅 費	国立がんセンター(東京) 基礎研修3	1名	94,200 (2泊3日)	94,200	航空券66,800(宮古～那覇～東京往 復) 日当6,600/宿泊20,800
旅 費	国立がんセンター(東京) 基礎研修1, 2	1名	103,600 (2泊3日)	103,600	航空券76,200(石垣～那覇～東京往 復) 日当6,600/宿泊20,800
旅 費	国立がんセンター(東京) 基礎研修3	1名	103,600 (2泊3日)	103,600	航空券76,200(石垣～那覇～東京往 復) 日当6,600/宿泊20,800
計				556,000	

6. アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談体制の整備として、がん相談実務者研修会で、「アスベストによる健康被害の救済に関する法律」について研修会を行う

項目			単価	支出予定金額	備考
旅 費		1名		100,000	県外講師招聘予定
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
会場借上費		1回	5,000	5,000	
計				120,000	

7. (その他相談支援に関する事)相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築

③沖縄県がん患者連合会等と連携・共催し、ゆんたく会・フォーラム等を公民館等の院外施設で開催する。

項目			単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	1時間	9名	15,000	135,000	
交通費(県内)		9名	2,000	18,000	
会場借上費		6回	5,000	30,000	
会場借上費	八重山合同庁舎	年3回	9,300	27,900	
旅費	宮古(年3回)	1名	44,800 (1泊2日)	134,400	航空券30,000(那覇~宮古往復) 日当4,400/宿泊10,400
旅費	八重山(年3回)	1名	54,200 (1泊2日)	162,600	航空券39,400(那覇~石垣往復) 日当4,400/宿泊10,400
計				507,900	

合 計 3,766,280

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)

1. 琉球大学附属病院支出予定額(地域拠点病院) 合計 2,720,880

1. がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供体制の整備
 ①患者必携の配布や内容の見直し、相談支援センターのチラシを作成・配布する。
 ③がん相談実務者研修会で、「患者必携(「地域の療養情報」)の配布方法」について研修会を行う(年1回)

項目	研修場所		単価	支出予定金額	備考
チラシ郵送代	47施設		1,800	84,600	市町村47施設 保健所6施設
交通費(県内)		1名	2,000	2,000	
計				86,600	

2. 診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供体制の整備
 ①沖縄県、地域ネットワーク部会と連携し、各医療機関の診療体制等について情報収集を行う。

項目	送付件数		単価	支出予定金額	備考
アンケート郵送代	71施設		180	12,780	返信用封筒切手代含む
ホームページ検索機能構築費				1,000,000	
アンケート集計代		71件		100,000	
計				1,112,780	

3. 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供体制の整備の一環としてがん相談実務者研修会で、合同カンファレンス事例・在宅移行支援事例・在宅ターミナルケア事例等について研修する(3回:各拠点病院1回ずつ)。

項目	研修場所		単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	各研修先病院内(1時間)	1名	15,000	15,000	
会場借上費	各研修先病院内	1回	0	0	
交通費(県内)		1名	2,000	2,000	
計				17,000	

4. セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介体制の整備

- ①がん診療を行っている病院等に依頼し、医師を対象としたセカンドオピニオンアンケート調査を行う。
 ②セカンドオピニオン受診サポートプログラムの実現に向けて、先進事例等を等の情報収集、ニーズ調査(対象:沖縄県がん患者会連合会、他患者会100人)を行う。

項目			単価	支出予定金額	備考
アンケート集計代	35施設	2,000件		1,200,000	
郵送代		15件	500	7,500	返信用封筒切手代含む
計				1,207,500	

7. (その他相談支援に関すること)相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築

- ③沖縄県がん患者連合会等と連携・共催し、ゆんたく会・フォーラム等を公民館等の院外施設で開催する。

項目			単価	支出予定金額	備考
旅費	宮古(年3回)	1名	44,800 (1泊2日)	134,400	航空券30,000 日当4,400/宿泊10,400
旅費	八重山(年3回)	1名	54,200 (1泊2日)	162,600	航空券39,400 日当4,400/宿泊10,400
計				297,000	

2. 那覇市立病院支出予定額(地域拠点病院)

合計 242,200

3. 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供体制の整備の一環としてがん相談実務者研修会で、合同カンファレンス事例・在宅移行支援事例・在宅ターミナルケア事例等について研修する(3回:各拠点病院1回ずつ)。

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	各研修先病院内(1時間)	1名	15,000	15,000	
会場借上費	各研修先病院内	1回	0	0	
交通費(県内)		1名	2,000	2,000	
計				17,000	

5. がん患者の療養上の相談体制の整備

①がん診療を行っている病院33施設の内、平成23年度8施設(県立宮古病院、八重山病院、他6病院:中部圏3病院 南部圏3病院)へ、共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できる様、支援・連携を図る。

②がん相談実務者研修会で「院内患者・家族会設立マニュアル」について研修会を行う。

項目			単価	支出予定金額	備考
交通費(県内) 相談記入シート導入 にあたっての説明会	がん相談実務者研修会	3回	2,000	6,000	中部圏3病院
旅費	がん相談実務者研修会	1回	60,200 (1泊2日)	60,200	航空券35,000(那覇~宮古 往復) 日当4,400/宿泊20,800
交通費(県内)		1名	2,000	2,000	
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
計				83,200	

6. アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談体制の整備

①がん相談実務者研修会で、「アスベストによる健康被害の救済に関する法律」について研修する。

項目			単価	支出予定金額	備考
旅費		1名		100,000	県外より招聘
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
会場借上費		1回	5,000	5,000	
計				120,000	

7. (その他相談支援に関すること)相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築

③沖縄県がん患者連合会等と連携・共催し、ゆんたく会・フォーラム等を公民館等の院外施設で開催する。

項目			単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		1名	2,000	2,000	
会場借上費		年1回	5,000	5,000	
計				22,000	

3. 県立中部病院支出予定額(地域拠点病院)

合計 163,500

1. がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供体制の整備

①患者必携の配布や内容の見直し、相談支援センターのチラシを作成・配布する。

項目	研修場所		単価	支出予定金額	備考
地域療養情報 郵送代	83施設		1,500	124,500	がん診療を行っている病院27施設 (緩和ケア病棟含む) 市町村47施設 保健所6施設
計				124,500	

3. 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供体制の整備の一環としてがん相談実務者研修会で、合同カンファレンス事例・在宅移行支援事例・在宅ターミナルケア事例等について研修する(3回:各拠点病院1回ずつ)。

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)		1名	15,000	15,000	
会場借上費		1回	0	0	
交通費(県内)		1名	2,000	2,000	
計				17,000	

7. (その他相談支援に関すること)相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築

③沖縄県がん患者連合会等と連携・共催し、ゆんたく会・フォーラム等を公民館等の院外施設で開催する。

項目			単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		1名	2,000	2,000	
会場借上費		年1回	5,000	5,000	
計				22,000	

4. 北部地区医師会支出予定額(支援病院)

合計 99,200

5. がん患者の療養上の相談体制の整備

①がん診療を行っている病院33施設の内、平成23年度8施設(県立宮古病院、八重山病院、他6病院:中部圏3病院 南部圏3病院)へ、共通のがん相談記入シートの導入、がん相談件数統計様式が使用できる様、支援・連携を図る。

項目			単価	支出予定金額	備考
交通費(県内) 相談記入シート導入 にあたっての説明会	がん相談実務者研修会	3回	2,000	6,000	北部圏3病院
旅費	がん相談実務者研修会	1回	71200 (1泊2日)	71,200	航空券46,000(那覇~石垣 往復) 日 当4,400/宿泊20,800
計				77,200	

7. (その他相談支援に関すること)相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築

③沖縄県がん患者連合会等と連携・共催し、ゆんたく会・フォーラム等を公民館等の院外施設で開催する。

項目			単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		1名	2,000	2,000	
会場借上費		年1回	5,000	5,000	
計				22,000	

5. 県立宮古病院支出予定額(支援病院)

合計 254,400

5. がん患者の療養上の相談体制の整備

③各支援病院の医療ソーシャルワーカーの常勤配置、研修会参加について沖縄県に提言する。

項目			単価	支出予定金額	備考
旅費	国立がんセンター(東京) 基礎研修1, 2	1名	94,200 (2泊3日)	94,200	航空券66,800(宮古~那覇~東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
旅費	国立がんセンター(東京) 基礎研修3	1名	94,200 (2泊3日)	94,200	航空券66,800(宮古~那覇~東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
計				188,400	

7. (その他相談支援に関すること)相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築

③沖縄県がん患者連合会等と連携・共催し、ゆんたく会・フォーラム等を公民館等の院外施設で開催する。

項目			単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	1時間	3名	15,000	45,000	
交通費(県内)		3名	2,000	6,000	
会場借上費		年3回	5,000	15,000	
計				66,000	

6. 県立八重山病院支出予定額(支援病院)

合計 286,100

5. がん患者の療養上の相談体制の整備

③各支援病院の医療ソーシャルワーカーの常勤配置、研修会参加について沖縄県に提言する。

項目			単価	支出予定金額	備考
旅費	国立がんセンター(東京) 基礎研修1, 2	1名	103600 (2泊3日)	103,600	航空券76,200(石垣～那覇～東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
旅費	国立がんセンター(東京) 基礎研修3	1名	103600 (2泊3日)	103,600	航空券76,200(石垣～那覇～東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
計				207,200	

7. (その他相談支援に関する事)相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築

③沖縄県がん患者連合会等と連携・共催し、ゆんたく会・フォーラム等を公民館等の院外施設で開催する。

項目			単価	支出予定金額	備考
講師謝金(学外者)	1時間	3名	15,000	45,000	
交通費(県内)		3名	2,000	6,000	
会場借上費		年3回	9,300	27,900	
計				78,900	

総額 3,766,280

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)